

美濃市古城山環境保全モデル林で 「ふれあいの森でしいたけホダ木づくり体験」が開催されました

令和3年2月28日(日)に、美濃市吉川町にある古城山環境保全モデル林(ふれあいの森)で、古城山環境保全モデル林連絡協議会主催による「ふれあいの森でしいたけホダ木づくり体験」が開催され、21名(うち子供10名)が参加されました。

ホダ木となる原木は、モデル林内の木を使用しました。木の伐採作業を見学した後、あらかじめ伐倒しておいた木をスタッフがホダ木の長さに合わせて玉切りし、参加者の手で作業を行う管理棟前まで運び出しました。

ホダ木は、原木に種菌を植え付ける穴をあけ、オガ粉からつくった種菌(オガ菌)を植え付けて完成です。手回しドリルで穴をあけますが、親子で協力して作業する家族もありました。あけた穴には、一つずつ丁寧に植菌器を使ってオガ菌を植え付けていました。この日つくったホダ木は、上手に育てると来年の秋頃にシイタケができるそうです。つくったホダ木は参加者が持ち帰り、シイタケができるか楽しみ、と話していました。

昼食はシェフが作った、薪で炊いたごはんのシーフードハヤシライスをおいしくいただきました。



管理棟前で開会式



スタッフが玉切りした原木を運搬



手回しドリルで原木に穴あけ



植菌器でオガ菌を植え付け



つくったホダ木は参加者が持ち帰りました



昼食(薪で炊いたごはんのシーフードハヤシライス)

「木の伐採は迫力があつた」、「今日は初めて見るものばかりでした」、「穴をたくさんあけるのが大変だった」、「子供たちもできる作業でよかった」等の感想をいただきました。